

2021年1月27日

各位

会社名 株式会社雪国まいたけ
代表者名 代表取締役社長 足利 巖
(コード: 1375、東証第一部)
問合せ先 執行役員 経営企画本部長
兼 経営企画部長 兼 IR・広報部長
小室 雅裕
(TEL. 025-778-0162)

次世代型パッケージングライン開発合意のお知らせ

当社は、AI技術をロボティクスに実装し社会課題の解決を進める株式会社ロビット（代表取締役：新井雅海、所在地：東京都板橋区、以下、「ロビット社」）とともに、まいたけカット工程の自動化技術の開発に成功し、次世代型パッケージングライン開発に合意しましたので、お知らせいたします。

当社は、2020年3月期～2023年3月期の中期経営計画において、トップラインの成長に加え、独自の生産技術や商品開発力の継続的な発展を通じて、さらなる収益性の改善を図るため、アグリテックの追求による生産性の向上を成長戦略の1つとして掲げております。

当社では、独自技術によって天然同様の900gを超える大きなまいたけ株を生産し、1株及び50gから500gまでの複数の商品ラインアップを販売しています。カット工程では、単に重量を合わせるだけでなく、部位によって異なる味わいや食感などを1パックにバランスよく、かつ見栄えよくパック詰めするための独自のカット技法にこだわりがあり、自動化を進める生産工程の中でも非常に多くの人員を要しております。



まいたけ株



雪国まいたけ極Mパック

まいたけ株は、形状や茎の付き方が1つ1つ異なるため、重量精度を出すことが最難度の農作物です。そのため、熟練したスタッフと経験が浅いスタッフでは2～3倍程度の作業効率差があり、将来的な人員確保やコロナ禍において様々な配慮が必要になる中で、カット工程の自動化の早期実現は不可欠となっています。

ロビット社とは、2019年より、当社の独自のカット技法と高レベルの重量精度を両立するAIアルゴリズムの開発、そのAIアルゴリズムを実装する自動カットロボットの開発を進めて参りました。この度、当社内で最も優れた熟練スタッフと同等レベルでカットすることが可能なAIアルゴリズム搭載の自動カットロボットの開発に成功しました。



AI 自動カットロボット



AI アルゴリズムによるカット指示

上記結果を踏まえ、両社は、AI アルゴリズム搭載の自動カットロボットを核に、カット工程の前後においても AI やロボティクスの実装を目指す次世代型のパッケージングライン（カットから包装までの工程）の開発を進めることに合意しました。

株式会社ロビットの企業情報

所在地 : 東京都板橋区小豆沢 4-26-13

代表者 : 代表取締役 新井雅海

設立 : 2014 年 6 月

事業内容 : ロボット、精密機器、関連するハードウェア、部品及びソフトウェアの設計、製造、販売

URL : <https://robit.co.jp/about>